

和光市地域公共交通計画の策定に向けて

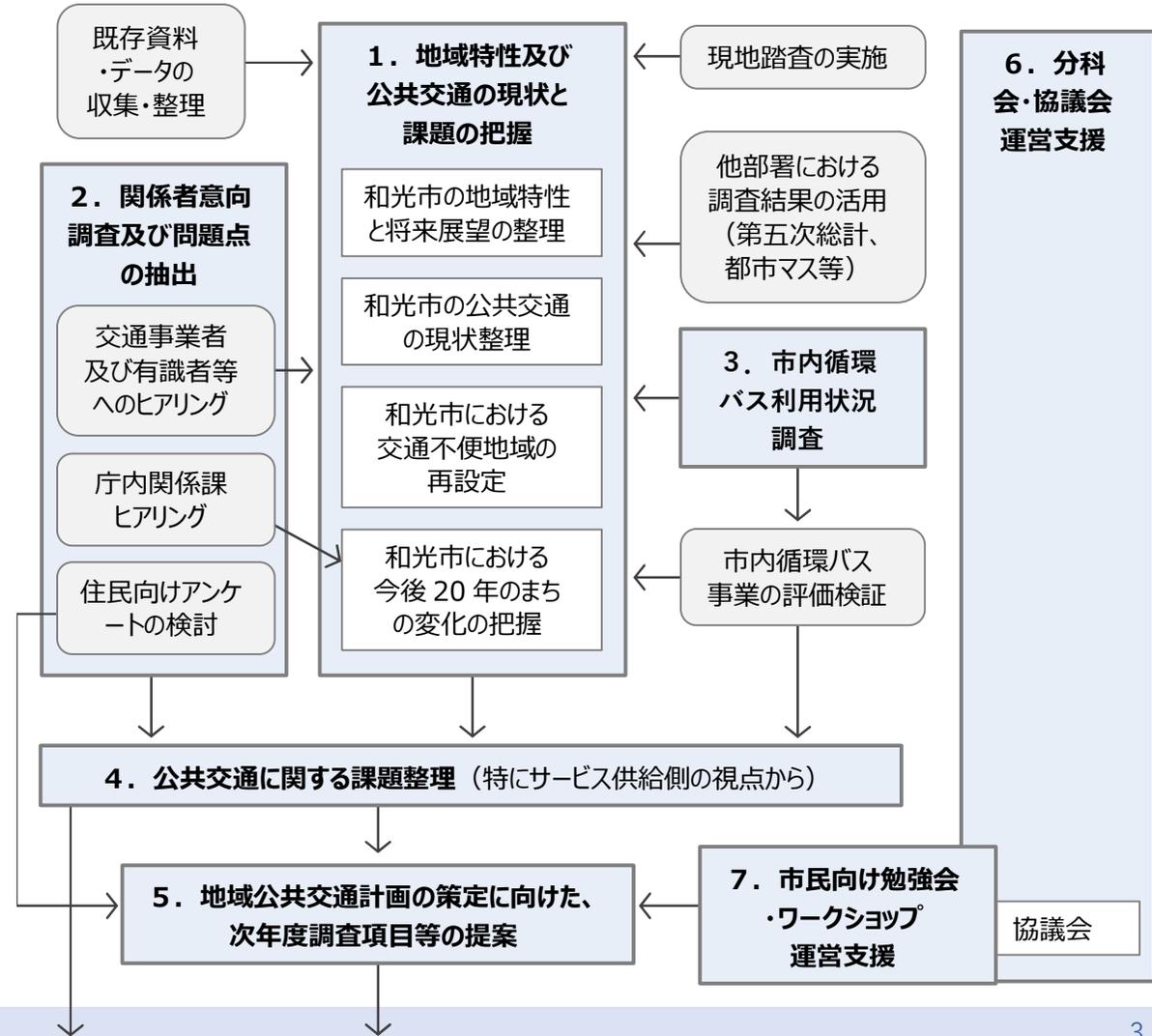
計画策定の流れと各種調査内容（案）

1. 計画策定の流れ

1-1 令和2年度の振り返り

(1) 調査・検討内容

- 既存資料・データから、地域特性と公共交通の現状を整理
- 交通事業者へのヒアリング等により、公共交通のサービス供給側の視点から現状・課題を把握
- 市の上位関連計画等を整理し、庁内関係課へのヒアリングにより、和光市の今後の20年のまちの変化を想定
- 市内循環バスのOD調査を実施し、事業の評価検証に着手（⇒R3継続）
- 市民ワークショップを開催（⇒R3継続）
- 事務局で、R3に実施する市民アンケート等の内容を検討



1-1 令和2年度の振り返り

(2) サービス供給側の視点からみた現状・課題

1. 地域特性にみる現状・課題

- ① 駅を挟んで南北に広く、狭隘道路や起伏が多い地形に起因する交通課題
- ② 団地等の人口減少・高齢化による移動課題
- ③ 坂・狭隘道路の多い台地部（新倉・下新倉等）の広い範囲における宅地化による交通課題

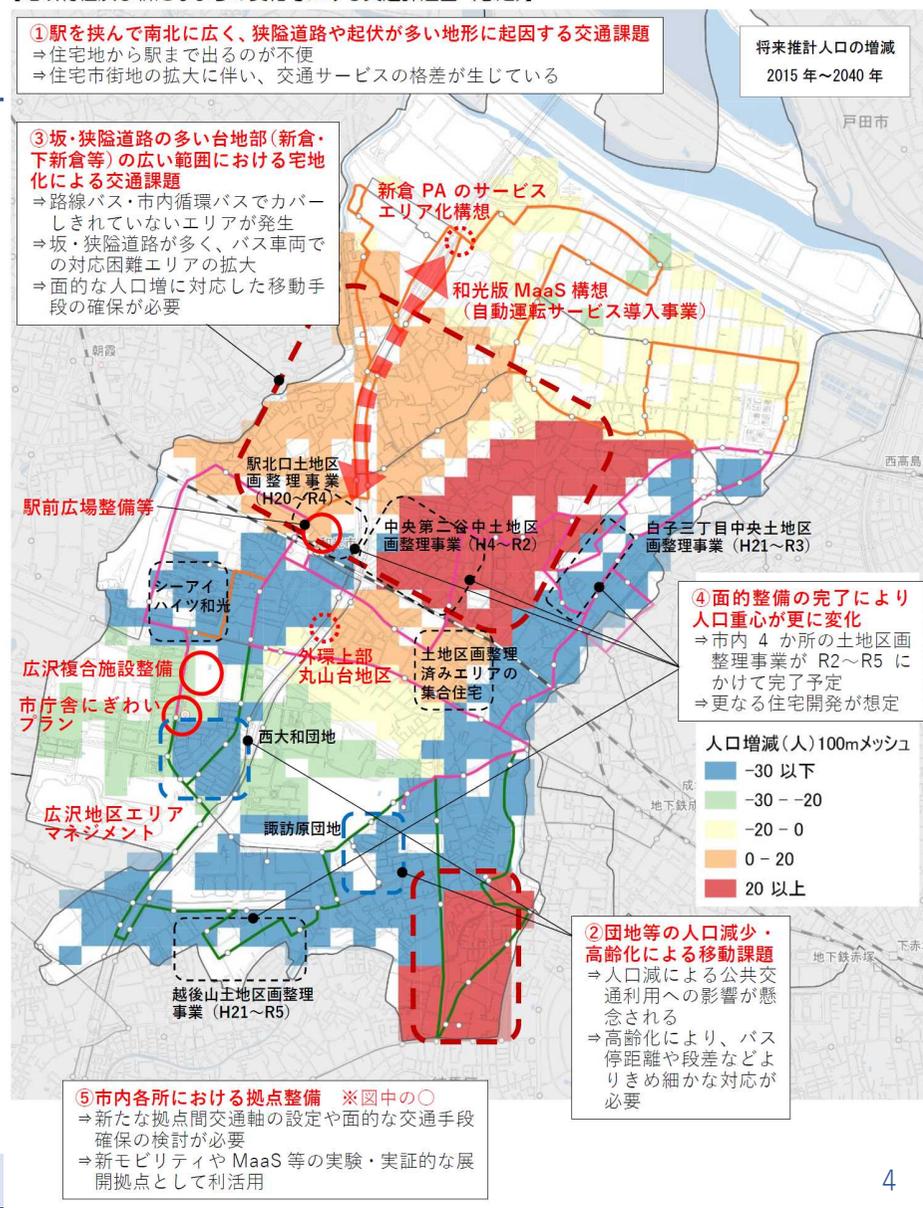
- ・ 市内各所からの市民の移動実態や、移動ニーズ等の把握が必要
- ・ 高齢者や移動に困っている人の具体的な意見把握等が必要
- ・ 多様な世代の移動ニーズ・要望等の把握が必要

2. 和光市の新たなまちの変化、まちづくりの視点

- ④ 面的整備の完了により、将来的に人口重心が更に変化
- ⑤ 市内各所における拠点整備
- ⑥ 市の上位関連計画の見直し（振興計画、都市マス、福祉計画等）

- ・ 西大和団地の再生計画や新たな区画整理の検討等も含めて把握・検討が必要
- ・ 各開発事業・実証事業等との情報共有や連動した取り組み検討が必要
- ・ 各計画の動向を踏まえるとともに、調査結果の有効活用を図ることが必要

【地域特性及び新たなまちの変化等にみる交通課題図（想定）】



1-1 令和2年度の振り返り

(2) サービス供給側の視点からみた現状・課題

3. 公共交通の現状・課題

- ⑦ 路線バスの主要拠点間は運行本数・利用者数ともに多い
- ⑧ コロナの状況も踏まえ、拠点間を跨ぐ長大路線や利用の少ない路線・区間の見直しが必要

・ 路線バスの利用実態の定量的な把握が必要

- ⑨ 駅周辺や新たな拠点整備に合わせて、交通環境及びネットワークの改善・見直しが必要

・ 施設側及び利用者・市民側のニーズ等の把握が必要

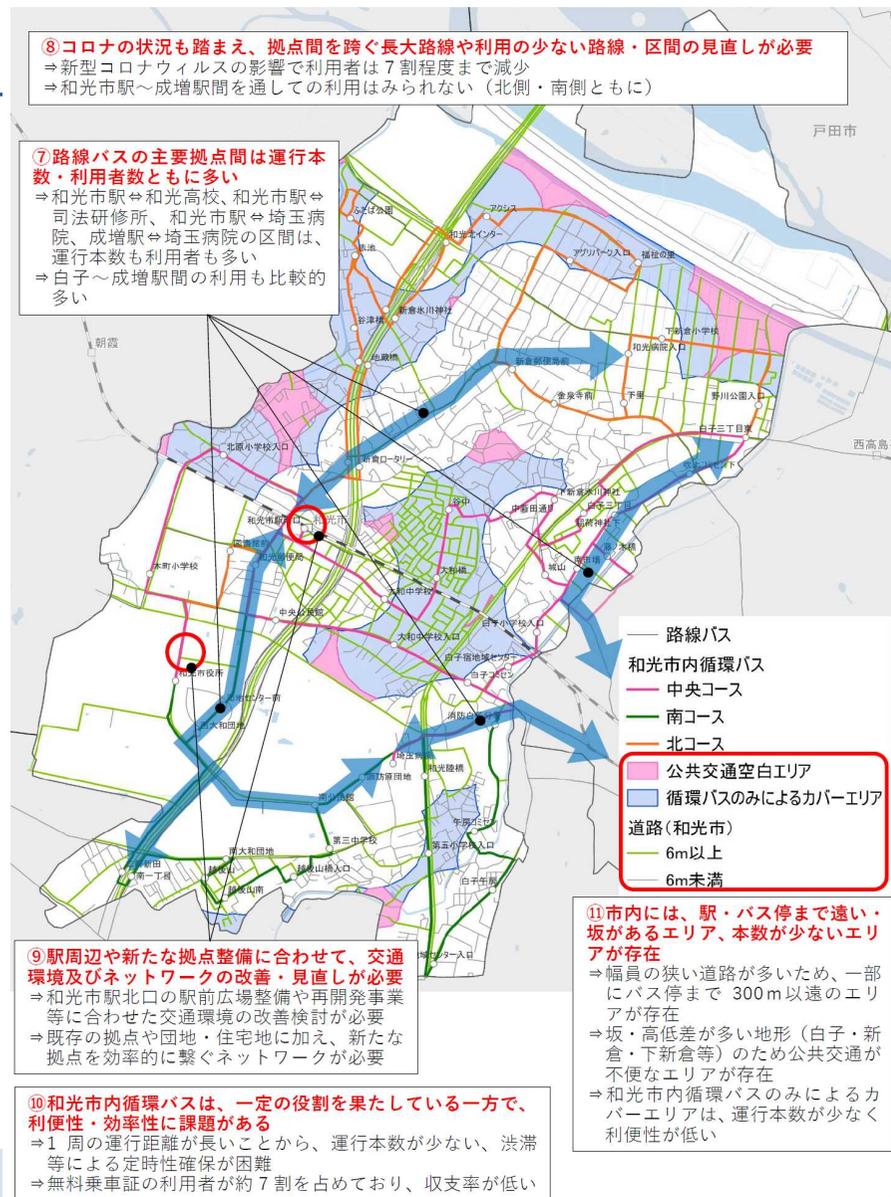
- ⑩ 和光市内循環バスは、一定の役割を果たしている一方で、利便性・効率性に課題がある

・ 市内循環バスの評価・検証を踏まえ、今後の考え方の整理が必要

- ⑪ 市内には、駅・バス停まで遠い・坂があるエリア、本数が少ないエリアが存在

・ バス停まで歩ける距離、坂・高低差による不便性等の把握が必要
 ・ バス交通だけでなく、タクシーやその他輸送サービス、シェアサイクルも含めて実態把握が必要

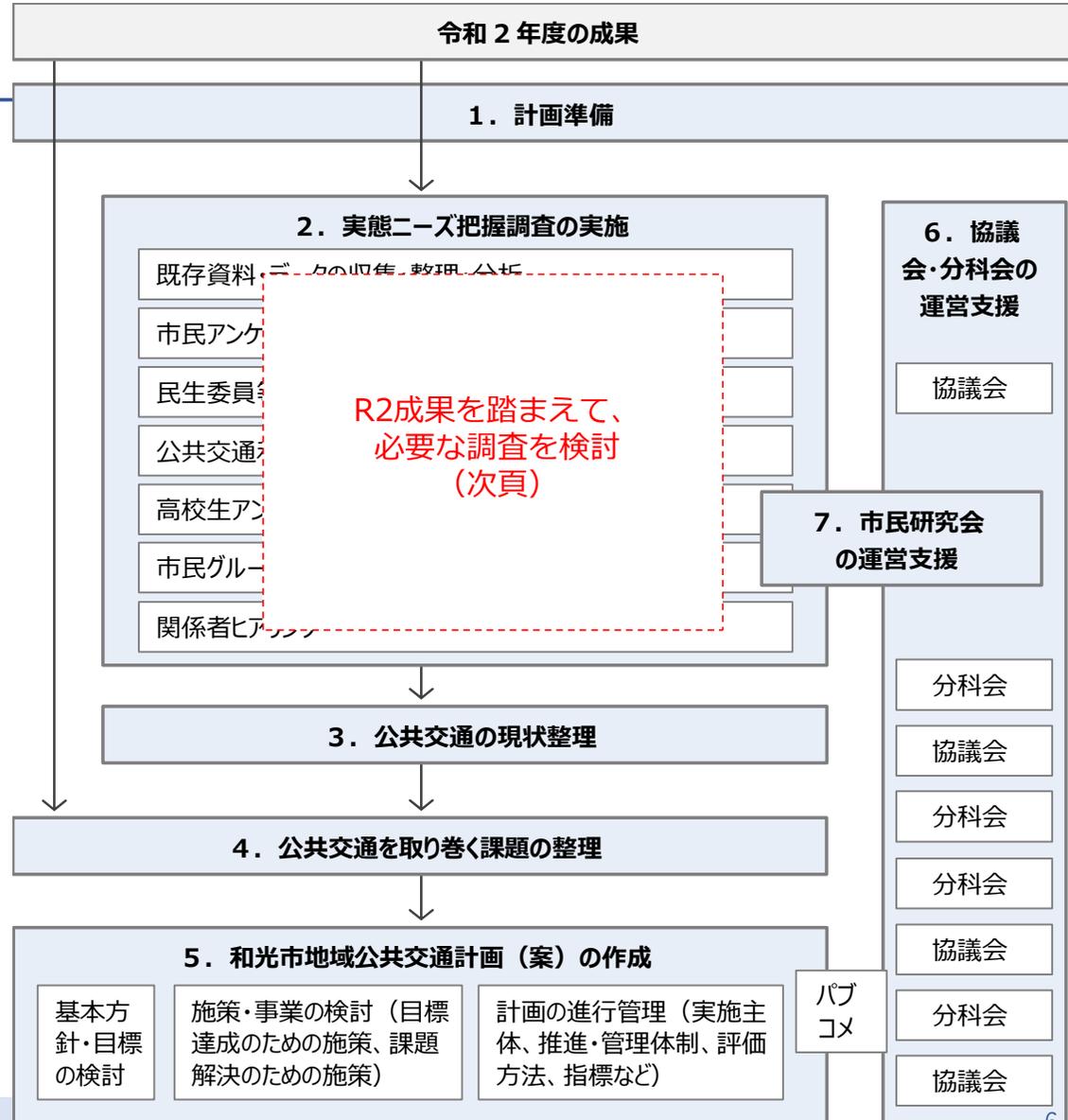
【公共交通の現状・課題図（想定）】



1-2 令和3年度の進め方

(1) 調査・検討内容

- R3年度は、市民・利用者視点で、把握すべき内容ごとに調査内容を明確にして実態・ニーズ把握調査を実施（※次頁でR2成果を踏まえ必要な調査を検討）
- 調査結果を踏まえて、R2成果をベースに課題・ニーズを深掘り
- 協議会、分科会、市民研究会の3本柱の体制で検討（和光市未来技術地域実装協議会とも連携）
- 計画策定に向けては、主に下記を検討
 - 「基本的な方針・目標」
 - 「目標達成のための施策・事業」
 - 「計画の進行管理の方法・体制」



1-2 令和3年度の進め方

(2) 必要となる調査

把握すべき項目・概要

地域の実態(需要等)

- 市民全体の実態
 - 地域別・目的別の移動実態（場所・時間・手段等）
- 高齢者等の移動に困っている実態
 - 利用する生活サービスの実態・日常的な移動実態
- 多様な世代の移動ニーズ
 - 通勤・通学ニーズ、子育て世帯の移動ニーズ等
- 広域の移動実態（市民以外含む）
 - 和光市⇔周辺区市の移動実態（場所・時間等）
- 市内循環バスの評価・検証
 - 利用者の評価、市内循環バスがない場合の外出の変化
- 公共交通に対する関連分野の考え・意向
 - まちづくりや他分野（都市・施設・福祉・観光等）の考え
 - 今後のまちづくりや関連事業の動向

手段の実態(供給等)

- 公共交通の提供状況
 - 公共交通の運行状況・経費、不便地域、経営状況
- 他分野の移動サービスの提供状況
 - 行政主体サービス（福祉輸送等）の実態
 - 民間・地域主体サービス（各種送迎バス等）の実態
- 公共交通の利用実態（広域・市内）
 - 鉄道・路線バス・循環バスの利用実態（便別、停留所別、区間別等）、サービスの過剰・不足状況
- 交通拠点の実態
 - 公共交通の乗り継ぎ実態・待合環境等の実態
- 新モビリティサービスの動向
 - 自動運転・MaaS・グリーンスローモビリティ等の動向

必要となる調査・整理（案）

- 市民アンケート
- 民生委員等アンケート
- 高校生アンケート
- 公共交通利用者アンケート
- 市民グループインタビュー
- 関係者ヒアリング（タクシー、庁内等）
（バス事業者・シェアサイクル等はR2）
- 市内循環バス利用状況調査（R2）
- 現地踏査（適宜）
- 地域特性の整理（R2）
- 公共交通等の現状整理（R2）
- 未来技術地域実装協議会との連携
（新モビリティサービスの事例整理）

アンケート

ヒアリング

実態調査

1-2 令和3年度の進め方

(参考) 地域公共交通計画の構成案

大項目	中項目
1. 計画の概要	計画の目的、計画の位置付け、計画の区域・期間
2. まちづくりの方向性	市が目指す将来像、まちづくり・都市整備の方向性
3. 地域公共交通の現状・課題	3-1 地域の現状 3-2 公共交通の現状・問題点 3-3 地域公共交通を取り巻く課題
4. 基本的な方針と目標	4-1 基本理念と基本方針 4-2 計画の目標 4-3 地域公共交通の将来像
5. 目標達成のための施策・事業	5-1 施策体系 5-2 各事業の内容 5-3 事業の実施スケジュール
6. 計画の進行管理の方法・体制	6-1 計画の推進体制 6-2 評価・検証方法 6-3 評価指標・数値目標

2. 実態・ニーズ把握調査の内容（案）

2-1 市民アンケート

- 市民の日常的な移動実態（目的地・移動手段・頻度・時間帯など）や公共交通の利用状況などについて把握する。
- コロナ禍により行動変容が発生している可能性が高く、移動実態を適切に把握するため、コロナ発生前・発生後の状況を把握するほか、生活を送る上で最低限必要な移動機会について把握する。

【実施概要（案）】

- **調査対象**：和光市に在住の方（16歳以上）
- **配布回収**：郵送配布、郵送又はWEB回収
- **配布数**：3,000票程度（回収率35%以上を想定）
- **調査項目**：基本属性、日常生活の移動、公共交通の利用状況、評価・改善要望

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）	設問設定の意図
日常生活の移動実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物、通院、通勤・通学などの日常生活での移動実態（目的地、頻度、移動手段など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の移動実態を把握
公共交通の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利用の有無 ・ 公共交通の利用実態（利用した公共交通、目的、乗り継ぎ実態、頻度など） ・ 公共交通に対する改善要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の現状の利用実態を把握 ・ 公共交通の見直しの方向性の検討材料として活用 ・ 具体施策の検討材料として活用
基本属性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別・年代・職業 ・ 居住地（丁目まで） ・ 自家用車・免許の所有状況など ・ バス停までの歩行可能距離（時間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性別の回答傾向の差異の分析などに活用

2-2 民生委員等アンケート

- 各地区の高齢者等をはじめとした生活の実態（困りごとなど）や外出について「生の声」を把握している可能性が高い民生委員等を対象としたアンケート調査を実施する。
- 市民アンケート等では把握しきれない「無償移動サービス」や「訪問サービス」などの利用実態も併せて把握する。

【実施概要（案）】

- **調査対象**：和光市内の民生委員・児童委員（約92名）
- **実施方法**：郵送配布または、郵送回収

※民生委員が出席する会議等があれば、その場で趣旨説明・配布を実施

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）
担当地区 の現状	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者からの買い物、通院などの日常生活での移動に関する相談内容・ 担当地区内でのコミュニティの形成場所
生活支援 サービスの 利用実態	<ul style="list-style-type: none">・ 移動を支援するサービスや移動を要しない訪問形式のサービスの提供実態
基本属性	<ul style="list-style-type: none">・ 担当地区

2-3 高校生アンケート

- 高校生の通学等に関する実態を把握するため、高校生アンケート調査を実施する。
- 高校3年生は受験等により通学時間に違いがあることが想定されることから、ある程度通学スタイルが確立していると想定される高校2年生を対象に調査を実施する。
- 通学以外（放課後、休日など）における公共交通利用の可能性や、保護者の高校通学に対する意見・要望等についても併せて把握する。

【実施概要（案）】

- **調査対象**：市内の高校2校（和光高校、和光国際高校）
- **実施方法**：WEBアンケートまたはホームルーム等でのアンケート配布

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）
普段の通学方法	<ul style="list-style-type: none">● 普段の通学時間、天候別の移動手段、公共交通に対する意見● 帰宅時の経由地、移動手段、時間帯、頻度
通学以外での移動実態（概要）	<ul style="list-style-type: none">● 通学以外での外出先、頻度、移動手段（自転車の利用頻度など含む）
基本属性	<ul style="list-style-type: none">● 性別● 部活動の所属● 最寄り駅・バス停の認知状況
通学に対する保護者の意向等 ※保護者が回答	<ul style="list-style-type: none">● 通学に掛かる費用● 費用負担や送迎等に対する経済的・身体的な負担

2-4 公共交通利用者アンケート

(1) 路線バス利用者アンケート

- 平日の昼間時間帯における路線バスの利用実態を把握する。
- 特に、和光市駅から近距離区間での市内の利用（市内循環バスとの役割分担）や、隣接自治体面への利用、市外からの利用、料金等の意向などを把握する。
- また、バス利用者の自転車利用の有無や利用シーンを把握し、連携施策の検討に活用する。

【実施概要（案）】

- **実施方法**：市内の主要バス乗場（和光市駅北口・南口等）で、バスを待っている人に対して調査票（はがきタイプ）を配布し、郵送にて回収を行う。
- **調査日時**：平日1日間、調査時間は日中の10時～16時頃の間とする。

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）
利用実態	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用路線、利用時間、乗降バス停 ● 往復・片道利用、利用目的、利用頻度、支払方法など
利用者の評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 運行方法に対する評価・改善意見 ● 料金等に対する評価・改善意見
回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"> ● 性別、年齢、職業、居住地（市内・市外） ● 運転免許の有無、自家用車の利用状況

調査票イメージ

質問 1 あなたご自身についてお尋ねします。

1) あなたの性別を教えてください。

【年代】 代 【性別】 ① 女性 ② 男性

2) ご職業を教えてください。

① 会社員・パート・アルバイト ② 自営業
③ 公務員 ④ 専業主婦(夫) ⑤ 仕事をしていない
⑥ 学生 ⑦ その他(具体的に)

3) お住まいを教えてください。

市・区・町・村

4) あなたはシルバーバスをお持ちですか。

① 持っている ② 持っていない

5) あなたは乗換、自転車までの程度利用しますか。(1つに○)

① ほぼ毎日 ② 週に4～5回 ③ 週に2～3回
④ 週に1回 ⑤ 月に数回 ⑥ 年に数回
⑦ 利用しない

質問 2 調査票を受け取った日の利用状況についてお尋ねします。

1) 目的地への行き・帰りのどちらでバスを利用されましたか。予定も絡めてお尋ねください。

① 行きのみ ② 帰りのみ ③ 行き・帰りの両方

2) 利用された路線バスの路線名とバス会社、乗車バス停(バス停をご記入ください。予定でも結構です。行き・帰れそれぞれお尋ねください。(わかる範囲で結構です))

【路線名】 行き
【バス会社名】
【乗車バス停】
【降車バス停】

【路線名】 行き
【バス会社名】
【乗車バス停】
【降車バス停】

3) 本日利用された路線バスに乗車した時間をご記入ください。予定でも結構です。行き・帰りそれぞれに記入ください。

【行き】 大体 時台 【帰り】 大体 時

4) 乗車目的を教えてください。(当てはまる全てに○)

① 通学 ② 通勤 ③ 業務 ④ 買い物
⑤ 病院 ⑥ 観光・レジャー ⑦ 知人と会う
⑧ その他(具体的に)

5) バスの運賃はどのような方法で支払いましたか。

① 現金 ② 定期券 ③ ICカード
④ シルバーバス ⑤ その他(具体的に)

6) あなたが今日ご利用になった路線の利用頻度を教えてください。(4つに○)

① ほぼ毎日 ② 週に4～5回 ③ 週に2～3回
④ 週に1回 ⑤ 月に数回 ⑥ 年に数回
⑦ 今日が初めて

質問 3 あなたが今日ご利用になった路線バスの以下のそれぞれの項目についてあなたの満足度を教えてください。

	満足	普通	不満
運行ルート(行き先)	1	2	3
1時間当たりの運行本数	1	2	3
運賃・料金	1	2	3
乗降バスの時間	1	2	3
路線バスの時間	1	2	3
バス停までの車で送迎	1	2	3
目的地までの送迎時間	1	2	3
乗降時のわかりやすさ	1	2	3

調査は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。
●月●日(●)までに、お近くの郵便ポストにご投函ください。

2-4 公共交通利用者アンケート

(2) 市内循環バス利用者アンケート

- 令和2年度調査で把握した利用実態を補足するとともに、「市内循環バス」の導入目的・コンセプトを踏まえ、利用者にとって「何の重要度が高い（低い）」のか、「何の満足度が高い（低い）」のか評価する。
- 他の交通モード（路線バス・自転車等）の選択肢の有無や転換可能性を確認し、「市内循環バス」施策の他分野への効果把握、「市内循環バス」見直しによる影響把握を行う。
- 運賃の感度分析を行い、支払可能額と利用頻度（外出しない又は他交通モードへの転換も含む）との関係性を把握する。

【調査項目（案）】

【実施概要（案）】

- **実施方法**：市内の主要バス乗場（和光市駅南口・埼玉病院等）で、バスを待っている人に対して聞き取りを行う。
- **調査日時**：平日1日間、調査時間は始発便～最終便の間とする。

項目	把握内容（概要）
利用実態	・ 乗降バス停、往復・片道利用、利用目的、利用頻度など
利用者の評価	・ 各コンセプトの項目に対する重要度と満足度 ・ 運行内容に対する改善意見
効果把握	・ 「市内循環バス」を利用する理由 ・ 「市内循環バス」が運行しなかった場合の外出行動（外出控え、他の移動手段への転換）
運賃	・ 100～220円（路線バス運賃）までの幅で変化させた場合の利用意思 ・ 利用しない場合の移動手段、利用頻度の変化など
回答者の属性	・ 性別、年齢、職業、居住地 ・ 運転免許の有無、自家用車の利用状況

2-4 公共交通利用者アンケート

(3) タクシー利用者アンケート

- 市内におけるタクシーの利用実態や改善要望などを把握する。
- タクシーの日常利用のしづらさ（乗場位置や呼び出し方法など）や利用抵抗（運賃など）の有無を把握し、改善施策の検討に活用する。

【実施概要（案）】

- **調査対象**：市内におけるタクシー利用者
- **実施方法**：
 - ①「路線バス利用者アンケート調査」または「市内循環バス利用者アンケート」の実施に合わせて、和光市駅等のタクシー乗場において、調査員がタクシー利用者へアンケート調査票を配布し、郵送回収する。
 - ②タクシー事業者の協力を得て、タクシー車内において、ドライバーから利用者にアンケート調査票を配布してもらい、郵送回収する。

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）
利用実態	・ 利用区間（運賃）、利用時間、乗降場所 ・ 往復・片道利用、利用目的、利用頻度、支払方法など
利用者の評価	・ タクシーの利用にあたっての問題点・改善意見（乗場、電話予約、運賃・迎車料金、支払方法、ドライバーなど）
回答者の属性	・ 性別、年齢、職業、居住地（市内・市外） ・ 運転免許の有無、自家用車の利用状況

2-5 市民グループインタビュー

- 交通課題や施策の方向性を踏まえて、課題地域における課題の深掘りや今後の新たな施策・サービスの検討のため、ターゲット（高齢者や子育て世帯など）を絞ってグループインタビューを実施する。
- 具体的な調査対象・調査実施方法は、各種調査結果を踏まえて課題地域の想定やターゲットを設定した上で定める。

【実施概要（案）】

- **調査対象**：課題地域の交通弱者10名程度（マイカーを持たない高齢者、子育て世帯など）
（対象地域・対象者の選定は、アンケート結果や課題抽出、施策方向性の検討を踏まえて設定）
- **実施方法**：市役所又は地区の集会所等を集まってもらい、インタビュアーが聞き取る。高齢者は民生委員等を通じて、子育て世帯は幼稚園・保育園等を通じて参加者を募ることを想定している。

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）
日常の外出行動と移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ・免許の有無、車・バイク、自転車の保有状況と利用状況
外出時の障壁と気軽に行きたい所	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の買物、通院、用事などでの外出先と外出回数 ・各地区からアクセスが悪い施設 ・公共交通利用時の困りごと（バス待ち環境や車内環境など）
改善の具体的な意見・提案	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段と所要時間（徒歩、自転車、車、送迎、バイク、市内循環バス、路線バス、タクシー、鉄道等）
参加者のプロフィール	<ul style="list-style-type: none"> ・住所、年齢、同居家族、居住年数

実施イメージ



2-6 関係者ヒアリング（タクシー、庁内等）

- 和光市に関係する交通事業者（タクシー会社等）、庁内関係課、隣接自治体等への聞き取り調査を行い、現状の課題や問題点、地域公共交通の留意すべき点等を把握する。
- 交通事業者へのヒアリングは、令和2年度業務で実施していないタクシー会社等を対象に実施する。
- 庁内関係課へのヒアリングは、令和2年度業務で実施した後、計画策定・見直し等の進捗がある場合に実施し、「市の目指す将来像」や「公共交通に求められる役割」の整理に反映する。
- 隣接自治体へのヒアリングは、行政界を跨ぐ移動について、今後の需要動向や供給面の課題も含めて、将来的な対応の考え方について意見交換する。

【実施概要（案）】

・ 調査対象：

交通事業者：タクシー会社、タクシー協会等

庁内関係課：必要に応じて実施

隣接自治体：必要に応じて実施（朝霞市、新座市、板橋区、練馬区）

・ 実施方法：別途用意するヒアリング項目にしたがって、関係者と対話しながら、意見を聞き取る

・ 調査項目：

交通事業者：タクシーの運行状況、新型コロナウイルスの影響、利用上の問題点、運行上の問題点、今後の取り組みの方向性